

しおがまを みてもみよう



しおがまししゅつしん ざいじゅう が か つりふね ふ き こ し
塩竈市出身・在住の画家 釣舟富紀子さんを知っていますか。釣舟さんの描く作品
は、私たちが暮らす塩竈が描かれていることは分かるのに、過去なのか現実なのか
未来なのか、なんだか知らない世界の塩竈のように感じます。
釣舟さんの作品から、もっと塩竈を見てみませんか。



①旧公民館裏 (本町)

しおがまし すぎむらじゅんびじゅつかん こうみんかんもとまち
塩竈市杉村悖美術館・公民館本町
分室横の小道をモチーフに描かれて
います。塩竈には、このような小道
や坂道がたくさんあります。ほかに
も、海や島、神社の鳥居、御座船の
鳳凰丸のような鳥など、釣舟さんが
描く作品には、たくさんの塩竈らし
い部分が散りばめられています。
お母さんやお父さん、おじいちゃん
やおばあちゃん、年代の異なる人
たちと話してみると、あなたが知ら
ない塩竈を知ることができるかもしれ
ません。



②やみ市 (海岸通)

しおがま かいがんどおり
「塩釜海岸中央鮮魚市場」(通称「闇市」)がモチーフ
の作品です。闇市は、海岸通にありました。
東日本大震災の津波で被災し、現在は、食を中心とし
た商業施設「直会横丁」になっています。昔は、このよ
うな個人店がぎゅっと並び、市場のようになっていたと
いう様子が描かれています。



③浪切不動尊 (権現堂)

ごんげんどう
権現堂にある浪切不動尊に向かう隧道が描かれていま
す。鳥居と隧道は、赤坂交差点から利府方面に向かう途
中、左手側に見えます。見たことがあるけど、行ったこ
とがない人も多いのではないのでしょうか。
鳥居の下には、カナヘビが描かれています。よく見る
と、色々な動物が他の絵にも描かれていますよ。



作者インタビュー

まちの細かい部分を見て、感じて、想像する 地域のことを考えるきっかけになれば

わたしは、よく古い道を描きます。古ければ良いというわけではなく、
その道が新しくなる過程を感じながら描いています。例えば、古い
道に災害対策でさまざまな構造物ができる時、まちの方々の工夫
が反映されています。そういう良い町にしていこうという、住んで
いる人たちの試行錯誤を、実際に歩きながら感じています。
どんなところに皆さんが興味をもてるものがあるかわかりません。
まちの成り立ちや、どんなお店があるとか、そこでどんな人が働い
ているとか、いろんなものを見回しながら生活すると、いろんな発
見ができて、日々楽しくなるとおもいますよ。



▲権現堂の軒並み⑥
◀亀井邸越しの旧公民館分室⑦

つりふね ふ き こ
釣舟 富紀子さん
が か
画家
だいいちしょうがっこう だいいちちゅうがっこう そつぎょうせい
第一小学校、第一中学校の卒業生。
し ない ふうけい けんぞうぶつ
市内の風景や建造物などをモチーフに、
ファンタジー描写を加えたアクリル画を
描く。日本画材では、実在の古い建造物
を中心に描く。第14回東北の
けんちく えが てん かめい てい こ
建築を描く展では「亀井邸越しの旧公民
館分室」で大賞受賞。虫 (特にクモ) が
す もし さが せいでん けいけん
好き。虫を探しているときの視点や経験
が反映されている作品も多い。



④勝画楼 (宮町)

しおがまし ゆうけいぶん かざい しょうがろう ほうれんじ あと えが
塩竈市有形文化財「勝画楼 (法連寺跡)」が描かれて
います。昔の写真や「料亭として使われていた勝画楼は
とてもにぎわっていた」という記録が反映されています。
ほかにも、作品中央に描かれた石造の建物は何なのか、
勝画楼のそばに描かれた灯台がなぜ描かれているのかを、
調べてみると新しい発見があるかもしれません。



⑤本町商店街 (本町)

いざりびしょうてんがい かこう しょうてんがい えが
漁火商店街という架空の商店街が描かれています。
よく見てみると、女の子が着ている体操服は第一中学校
の青地に赤白ラインの入った体操服に、背景の一番高い
建物は市役所吉番館庁舎に似ています。
そのほかにも、釣舟さんの絵には、さまざまな仕掛け
があり、塩竈らしい部分を見つけることができます。